

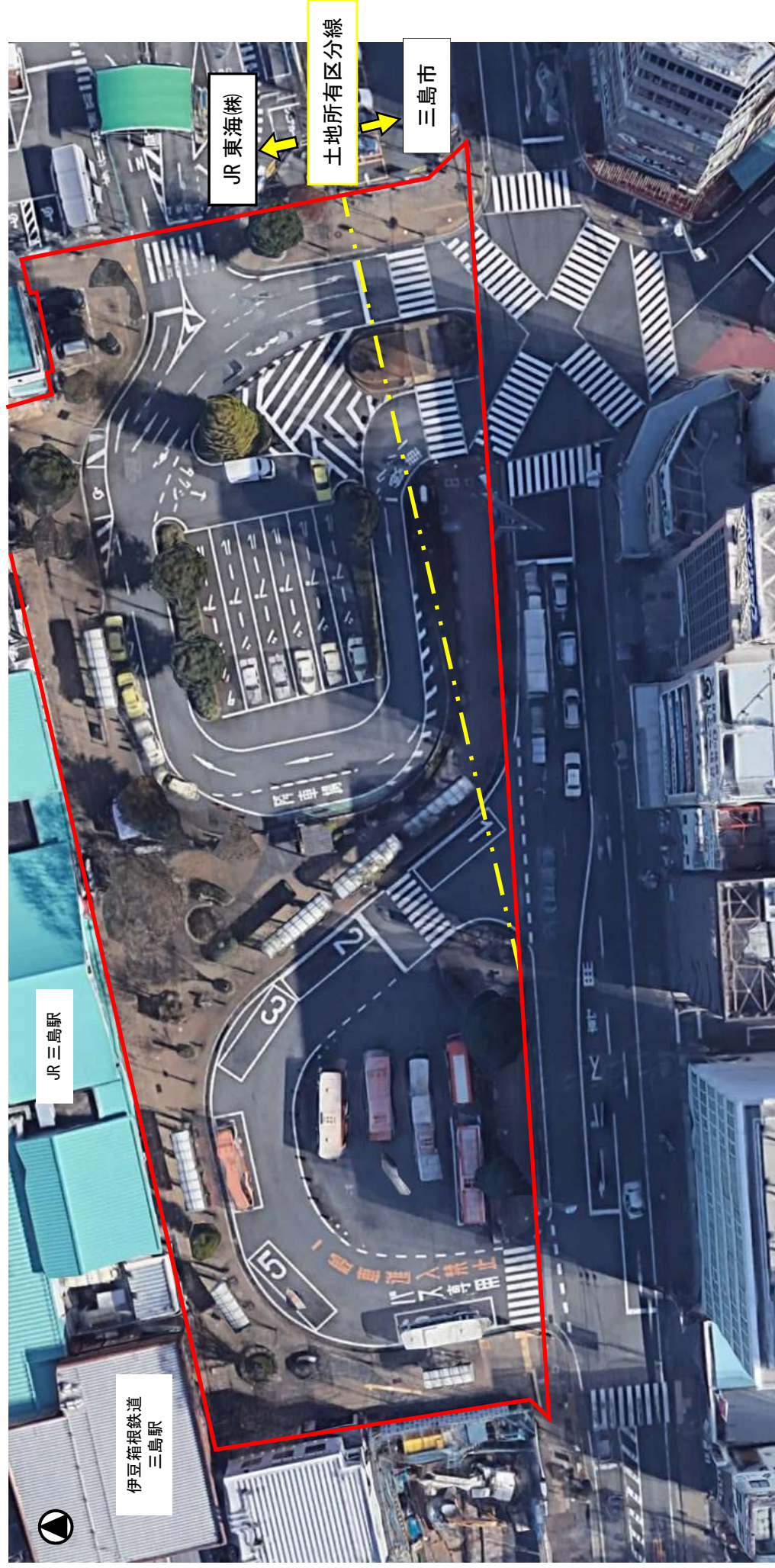
令和4年度 第2回
三島市地域公共交通網形成協議会
報 告 事 項

報告事項1 三島駅南口広場改修について

…P1

1. 三島駅南口駅前広場の状況(航空写真)

- バス
乗降場 6 バース (路線バス)、乗降場 1 バース (伊東温泉けいりん行き直通バス)
- タクシー
乗降場 4 台分、降車場 2 ~ 3 台分 (一般車と兼用)、待機場 24 台分
- 障がい者用車両
乗降場 1 台
- 一般車
降車場 2 ~ 3 台分 (上記、タクシーと兼用)、乗車場なし
- 歩行空間
連続した屋根 (シェルター) なし



2. 三島駅南口駅前広場の現状の課題

「三島市地域公共交通網形成計画（平成30年7月策定）」に基づく公共交通の利用促進策、「三島駅南口東街区再開発事業」を進める上で次のような課題を整理。

(1) 交通処理機能に関するもの

■バス
<ul style="list-style-type: none">・発着台数、方面の多様さに対し、乗降箇所数（6箇所）が絶対的に不足しており、現在の6バスから8バスに増設する必要がある。降車専用として2バスの設置が望ましいが、全体面積が不足していることから、乗車バスとの兼用も含めて検討する必要がある。・ロータリー全体が狭く、バス停間の距離が短く、ロータリー内のカーブもきついことから、バスが正着できないバスがある。等
■タクシー・一般車
<ul style="list-style-type: none">・タクシーと一般車の降車場が混在しており分りにくい。・雨天時や夕方以降などにおいて、禁止されている一般車降車場での乗車が見られ、待機車両が多くなり、タクシーの運行（特に降車）に支障が生じている。・障害者乗降場がJR三島駅出入口から最も遠く、ユニバーサルデザインの視点から不適切である。・一般車の乗車は駐車場（20分無料）を利用することとなっているが、三島駅南口東街区の市街地再開発事業等により駐車場が遠くなるため、利用者への適切な案内が必要となる。等
■交通手段間の移動
<ul style="list-style-type: none">・雨をしのぐための屋根がバス及びタクシーの乗降場に限られている。（雨に濡れずにバスやタクシーに乗るための動線が確保されていない）・JR三島駅と伊豆箱根鉄道三島駅間の連絡についても屋根がない。等
(2) 環境空間機能に関するもの
■待合機能・歩行空間
<ul style="list-style-type: none">・歩行空間が狭い箇所があり、歩行者とバス及びタクシー利用者の動線が一部干渉している。また、樹木や水の仕掛け等が歩行空間の一部を阻害している。等
■植樹・水の仕掛け等
<ul style="list-style-type: none">・街中がせせらぎ事業の一つとして、樹木や水の仕掛け等が多く配置されており、良好な環境・景観を創出している一方で、歩行者空間及び見通し（駅出入口かバス乗降場等の位置を確認しづらい）を阻害しているものもある。・樹木の本数過度による鳥害が問題となっており、樹木の移設・撤去を含めた対策が求められている。等
■情報
<ul style="list-style-type: none">・乗り場案内や標識等は「令和元年度三島市地域公共交通網形成計画に基づく取り組み支援業務」に基づき、統一感ある分かりやすいものに整備された。しかし、バス停に掲示されている路線図及び時刻表は分りにづらく、バス利用者の動線を考慮した改善等を図っていく必要がある。等

三島駅南口駅前広場に関するアンケート 概要版

(1) 調査目的

三島駅南口駅前広場を利用する方々が、駅前広場の現状についてどのように感じているのか、また今後どのようなことを望んでいるのかを把握し、グランドデザイン案に反映させるため。

(2) 主な調査項目

- 駅前広場を訪れる頻度及び目的
- 主な交通手段（自宅から駅前広場、駅前広場から目的地）
- 駅前広場に対する満足度（安全性、快適性、利便性など14項目）
- 駅前広場をより良くするために、重視すべきこと

(3) 調査方法

- 調査対象 駅前広場利用者（中学生以上 見た目判断による）
- 対象者数 1,620人（平日900人、休日720人）
- 調査方法 調査票直接手渡し、郵送またはインターネット回答
- 調査日時 令和3年11月25日（木）、11月28日（日）

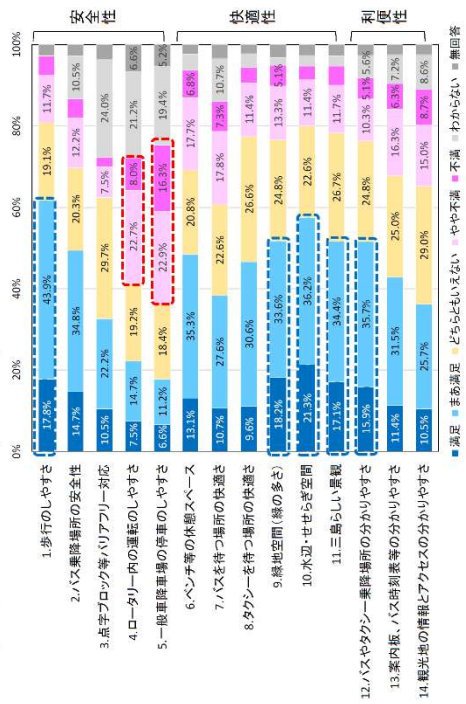
(4) 回収結果

- 回収数 572票（当日回収27票、インターネット114票、郵送431票）
- 回収率 35.3%（平日41.7%、休日26.5%）

(5) 調査結果

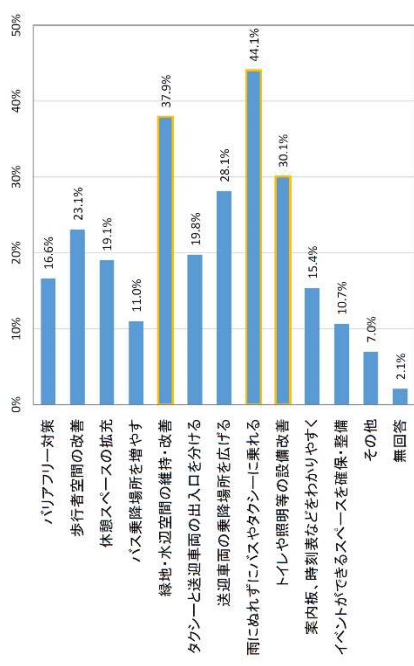
①南口駅前広場の満足度：満足度が高いのは「快適性」、一方、満足度が低いのは「安全性」

- 「満足」+「まあ満足」が50%を超えているのは、「1.歩行のしやすさ」「9.緑地空間」「10.水辺・せせらぎ空間」「11.三島らしい景観」「12.バス・タクシー乗降場所の分かりやすさ」の5項目。
- 一方、「やや不満」+「不満」が30%を超えているのは、「4.ロータリー内の運転のしやすさ」「15.一般車降車場の停車のしやすさ」の2項目。



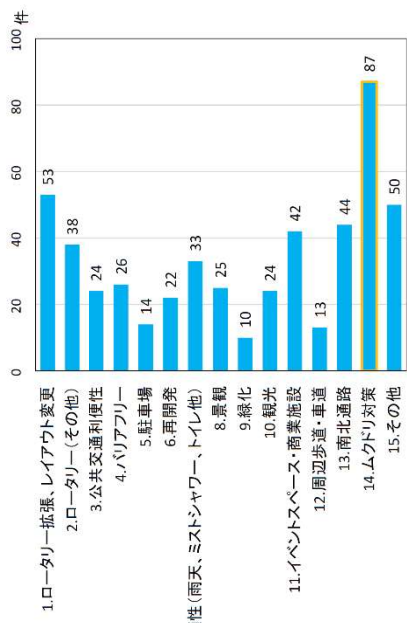
②南口駅前広場をより良くするために重視すべきこと：「雨に濡れずにバスやタクシーに乗れるようにする」が4割半、「緑地・水辺空間を維持・改善する（野鳥対策など）」が4割未満

- どの年代も「雨に濡れずにバスやタクシーに乗れる」「緑地・水辺空間の維持・改善」が多い。
- 交通手段別では、特に、バイク、JR新幹線、バス移動の人は「雨に濡れずにバスやタクシーに乗れる」が多い。
- 他の交通手段に比べ、自転車は「歩道を広げるなど歩行者空間を改善する」、自動車（家族送迎）は「バスを乗り降りする場所を増やす」、自動車（自分で運転）は「タクシーの出入り口と送迎車両の出入り口を分ける」が多い。



③自由意見：「ムクドリ対策」が圧倒的に多い

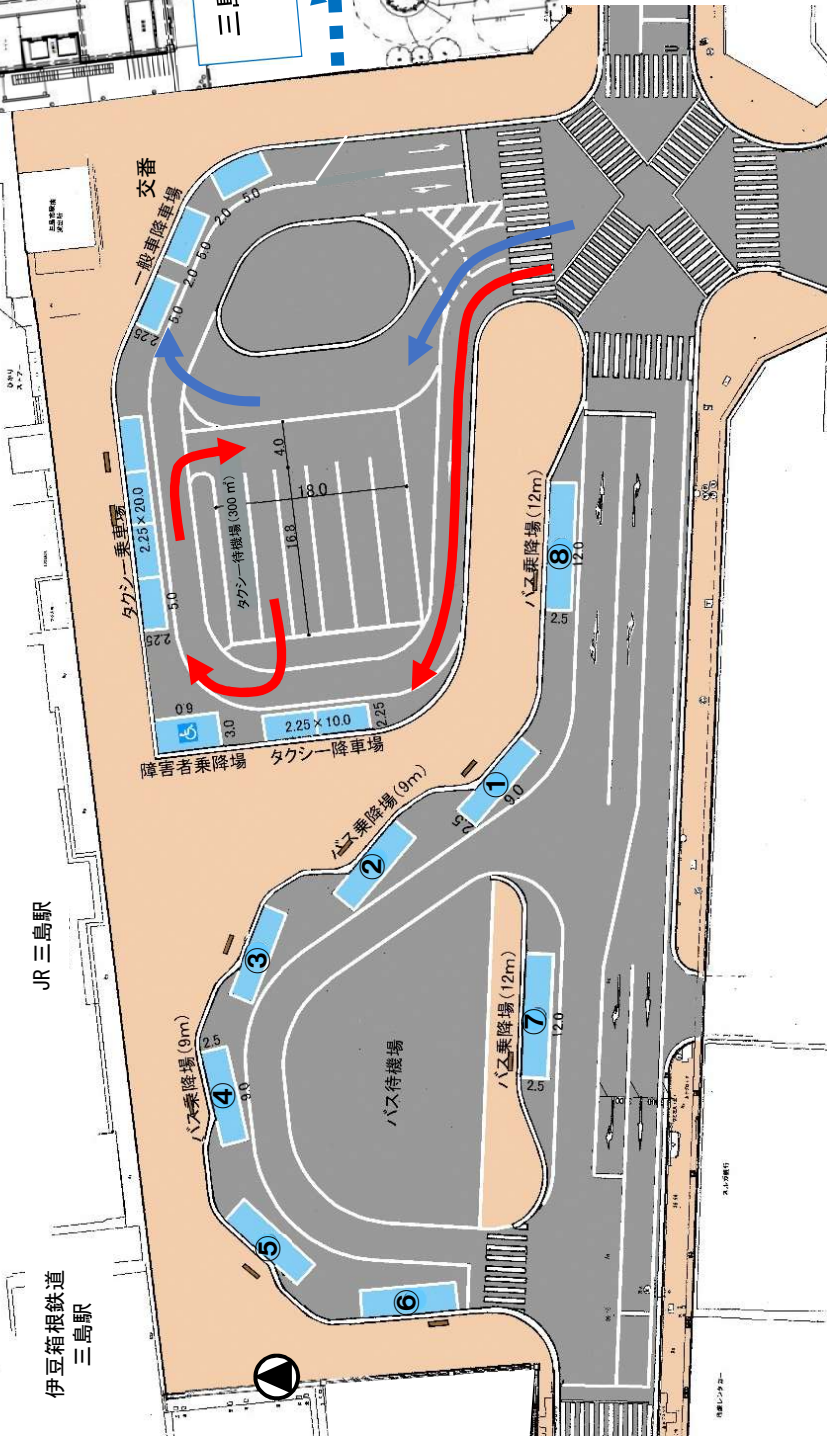
- 「14.ムクドリ対策」は、②の今後重視すべきこととしても2番目に多く、早急な対策が求められている。
- 次いで「1.ロータリー拡張、レイアウト変更」が多く、ロータリーが狭いゆえに危険であること、レイアウト変更すれば利便性が高まるなどの意見が多い。
- また、ロータリー（その他）として、バスロータリー内への一般車の進入、ロータリー内のバスの降車などの危険性といった意見がみられた。



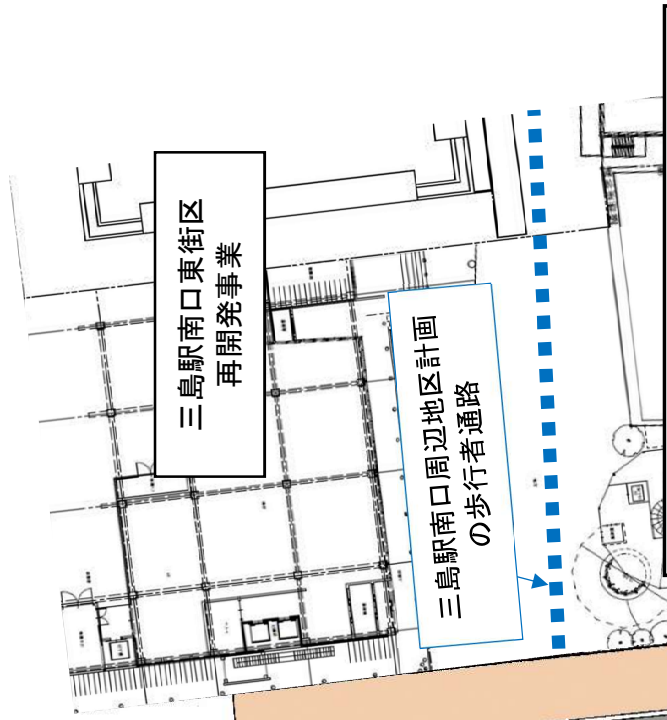
3. 整備構想(案)

■ バスターミナル、タクシー、一般車ロータリー部分
下図のとおり

↑ タクシー動線
↑ 一般車動線



(縮尺 S=1/free)



改善点

- ・バス乗降場1番線と2番線の間の横断歩道を撤去
(運転手から歩行者を確認しづらく危険であるため)
- ・バスの正着を可能にし、2バース追加
(7番線は西側方面からの停車に限定、8番線は右折レーンへの進入が困難)
- ・タクシーターミナル内のタクシーと一般車の動線を分離
(入口と交番付近のみの交錯)

4. 三島駅南口東街区再開発事業で計画している歩行者の動線

2(1) 導入機能の検討状況⑨ 17

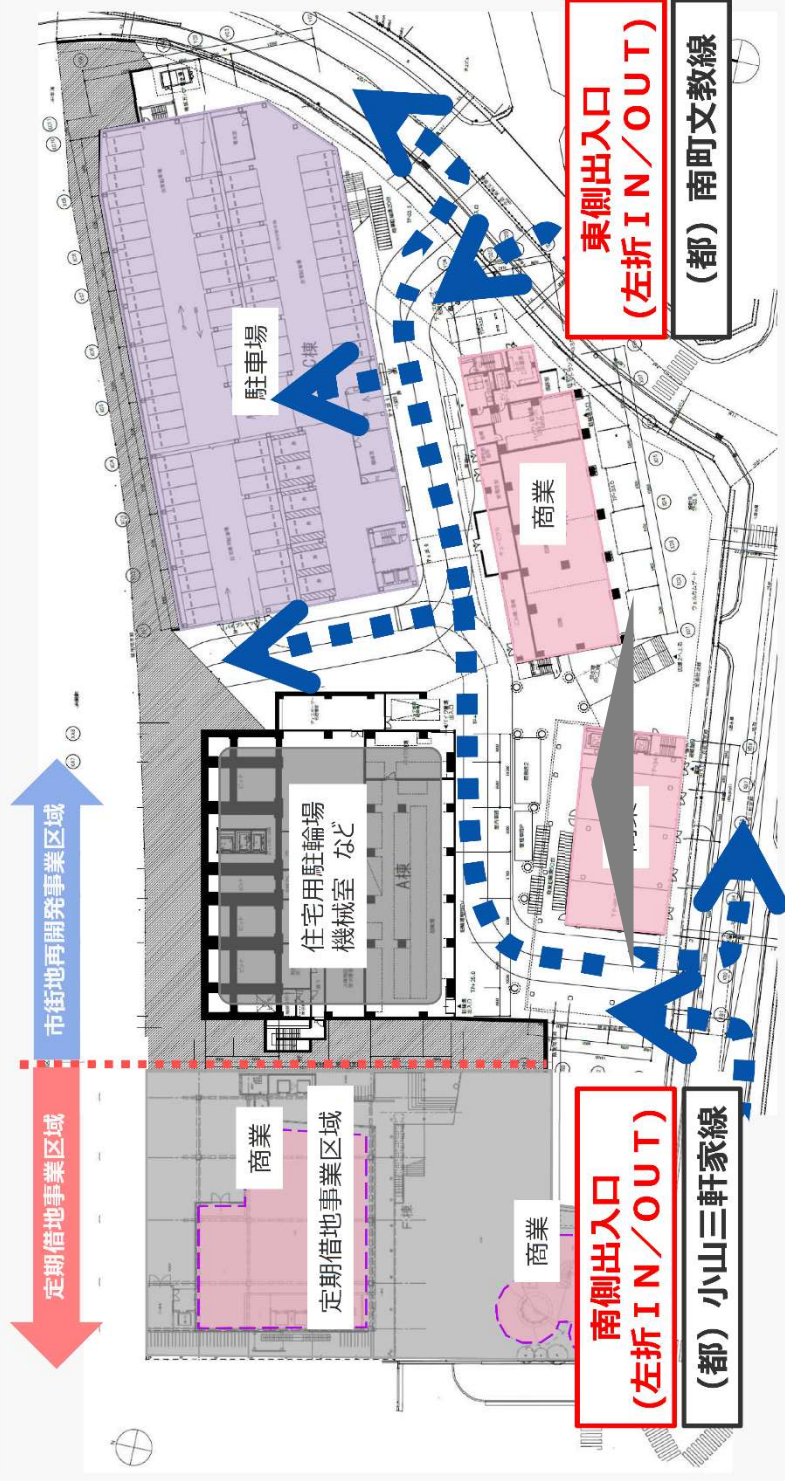


(三島駅南口東街区再開発事業に関する市民説明会資料より(一部加工))

5. 三島駅南口東街区再開発事業で計画している自動車の動線

2(2) 交通対策⑤

22



三島駅南口駅前広場側

- ※事業区域は東に向かって傾斜しており、西端と東端では約6mの高低差があります。
- ※そのため本スライドでは、市街地再開発事業区域の1階を表示しており、定期借地事業区域は表示しておりません。
- ※今後の協議によって計画案に変更が生じる可能性があります。
- ※東側出入口については、駐車場法に係る大臣認定の取得に向けて関係者との協議を進めています。

(三島駅南口東街区再開発事業に関する市民説明会資料より (一部加工))